

北九州地区小児科医会会報

講演会・カンファランスの等のご案内

北九州地区小児科医会例会のご案内

第575回北九州地区小児科医会例会（WEB開催）

日時：2022年5月19日（木）19:00～20:30

一般講演：くる病症状を呈し、背景に養育環境不良を認めた
ビタミンD欠乏性低カルシウム血症の乳児例

演者：北九州市立八幡病院 小児科 部長 藤崎 徹 先生

特別講演：低リンくる病Update～診断のポイントと新規治療～

演者：地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪母子医療センター 研究所

骨発育疾患研究部門 部長 道上 敏美 先生

事前申込先・当日緊急連絡先：協和キリン(株)

TEL.093-541-2277

<https://bit.ly/37waBzf>

上記もしくは右記より事前登録ください。



北九州子どものこころ懇話会合同学術講演会（WEB開催）

日時：2022年6月16日（木）19:00～21:00

特別講演：幼少期の環境が発達に及ぼす影響

演者：福井大学子どものこころの発達研究センター

センター長 発達支援研究部門 教授 友田 明美 先生

事前申込先：

<https://us06web.zoom.us/meeting/register/tZYvcuGrqD4jHNaIO-Tf6s7JT1AUaxb2zvZe>

上記もしくは右記のバーコードより事前登録

ください。（2022年6月13日締切です）



その他講演会などのご案内

第445回小倉小児科医会臨床懇話会（WEB開催）

日時：2022年5月26日（木）19:00～

演題1：顔面筋損傷に至ったチックの一例

演者：国立病院機構 小倉医療センター小児科 緒方 怜奈 先生

演題2：当院のCOVID-19母体から生まれた新生児の感染対策と管理経験

演者：国立病院機構 小倉医療センター小児科 中島 彩先生

第446回小倉小児科医会臨床懇話会（WEB開催）

日時：2022年6月23日（木）19:00～

演題1：経口補水液を考える

演者：北九州市立医療センター 小児科 前原 健二 先生

演題2：WBGT（暑さ指数）から見た熱中症とその予防

演者：北九州市立医療センター 小児科 堀川 悠 先生

産業医科大学セミナー等のご案内

現地とWeb配信のハイブリッドで開催いたします。

Webでの参加をご希望の先生は、

j-syoni@mbox.med.uoeh-u.ac.jpまでご連絡願います。

後日、参加方法の詳細をお知らせいたします。

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2022年5月9日（月）19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：West症候群 up-to-date

演者：産業医科大学 小児科 福田 智文先生、

五十嵐 亮太 先生、重田 英臣 先生、緒方 愛美 先生

※5月の小児科セミナーはお休みです。

産業医科大学小児科クリニカルカンファレンス

日時：2022年6月20日（月）19:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：多彩な症状を持つ新生児のサイトメガロウイルス感染症
～診断に難渋した2症例の経験～

演者：産業医科大学 小児科 清水 大輔 先生、

田中 健太郎先生、渡邊 俊介 先生

産業医科大学小児科セミナー

日時：2022年6月30日（木）18:00～

場所：産業医科大学大学2号館2208教室

演題：性分化疾患

演者：産業医科大学 小児科 齋藤 玲子 先生、池上 朋未 先生

「新生児マスキングセミナー」

日時：2022年6月9日(木) 19:00～20:00（WEB開催）

特別講演：新生児マスキングの現状と拡大
スクリーニングへの期待

演者：熊本大学大学院生命科学研究部

小児科学講座 教授 中村 公俊 先生

事前申込先：

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_YdpH6dbdQpWw5BF9gIMquw



北九州 HPV ワクチンセミナー（WEB開催）

日時：2022年6月13日（月）19:00～

演題：子宮頸がん・HPV ワクチンの現状と課題（仮）

演者：産業医科大学 産科婦人科学 教授 吉野 潔 先生

< 要事前申込 > 連絡先：MSD(株) TEL FAX.0120-860-744

令和3年度九州小児科医会審査員連絡協議会の報告(1)

コロナ禍のため、令和2年度(宮崎県)に続いて今回(沖縄県;令和3年11月13日)も表題の会議はWeb形式で行われました。

開催時には未だデルタ株が中心で小児のCOVID-19感染例は少なく、主要な議題であったCOVID-19関連でも「院内トリージ実施料の適応について」が議論の中心でした(後述)。

その他の議題で協議を終えたものは、基本診療料に関するもの5題、検査に関するもの13題、治療に関するもの15題となっています。例年に比べて議題数が少なかったため、時間的に協議できなかつた議題は少数で、優先議題はほぼ検討が終了しました。

この原稿を書いている時点ではCOVID-19オミクロン株の流行が続いているので、今月はCOVID-19関連の議題と付随する話題、基本診療料に関して公表できる3議題について記載し、検査および治療に関して公表できるものについては来月ご報告いたします。

会議では、各県からの報告と比べ当県での院内トリージ実施料の算定割合が高い医療機関がかなり多いことが分かりました。他県では30%を超える医療機関はきわめて限定的だったようです。その後、オミクロン株の流行で小児のCOVID-19罹患が本格化しましたので、現時点では院内トリージ実施料の算定は他県でも増加しているものと思われます。

院内トリージ実施料(診療報酬上の特例措置)の算定には、「COVID-19の確定診断」または「COVID-19疑い+感染症病名」が必要です。他の加算項目もありますので、確定診断(登録患者)なのか疑いなのかははっきりと区別してください。すでに流行が起こっていますし、PCR法等も容易に検査できる体制になっており、検査も行わず1エピソードで複数回の院内トリージ実施料を算定する場合にはコメントを求める(検査を実施しなかつた理由の詳細を求める)ことになりました。なお、単回の院内トリージ実施料の算定事例では抗原定性などの検査は必須ではありません。また、「COVID-19疑い+感染症病名」の状況であれば、月に複数回のエピソードで算定を認めることとしていますが、前回のエピソードの転帰(中止)後1週間以上空けた時点から新たに病名を掲げて算定可能としています。傾向的に算定が多い施設には積極的に返戻して内容の詳細を確認することになります。

1エピソードで2回目の抗原検査を行う例では、1回目の検査結果に疑義を生じた内容を2回目の必要性へのコメントで記載してください。時に、「受診が早かつたため陰性の可能性があり、連日で検査を行った」というコメントを見かけますが、発症時にはウイルスの排泄が起こっている疾患ですので、このような理由は適切ではありません。また、1回目に核酸検出検査が行われているにも拘わらず、2回目は抗原定性で行っている場合も不適切と考えられます。

それぞれの検査法の特徴を生かして適切なものを選択してください。すでにご承知と思いますが、厚労省のHPにある「新型コロナウイルス感染症 病原体検査の指針(第5.1版)

(<https://www.mhlw.go.jp/content/000914399.pdf>)」が参考になります。COV-19と同時にインフルエンザ抗原性も可能な検査では両者の傷病名(疑いを含む)が必要です。インフルエンザは流行がないままに例年の流行期を過ぎていますので、必要性が分かるコメントを付記した方が丁寧です。

I. 基本診療料・医学管理に関するもの

Q-1: 抗菌薬適正使用支援加算について

水痘やムンプス、手足口病などに急性気道感染症や下痢症が合併している場合には抗菌薬適正使用支援加算は認められますか?

A-1: 単独の場合には算定できませんが、合併している場合には認められます。

Q-2: 小児特定疾患カウンセリング料について

カウンセリング料の算定が2年を超えた場合にはどうなりますか?

A-2: 2年経過後6ヶ月以上の間隔が空き、別カテゴリーの疾患であれば再度算定は可能です。ただし、同じ疾患では認められません。また、原則として前回対象となった傷病名がすでに治癒または中止になっていることが必要です。

Q-3: 新生児慢性肺疾患に対する在宅酸素療法について

新生児慢性肺疾患で在宅酸素療法を行なっている場合、高度慢性呼吸不全の傷病名は必要ですか?

A-3: 在宅酸素療法の妥当性を示す診断名として併記が必要です。

(福岡県小児科審査委員連絡会)

協議事項・報告事項

1) 2022年7月2日に福岡県小児科医会総会があり、今回は北九州地区小児科医会が担当となります。
開催日時：2022年7月2日15:30～19:00 Zoom配信
会場：リーガロイヤルホテル小倉
現地集合は10名の予定です。(県の会長、庶務、会計、ネット業者2名、吉田会長、庶務、講師先生、猿渡様、座長の古賀靖敏先生)

特別講演1：創薬ターゲットとしてのミトコンドリア
ーエネルギー代謝からがん、感染症までー
演者：長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科科長
東京大学名誉教授 北 潔先生

特別講演2：拘りのものづくり、絶対品質の追及こそが明日を切り拓く！
演者：元TOTO株式会社 代表取締役副社長 猿渡 辰彦 先生

特別講演3：こども家庭庁、その目指すところ
(ビデオ講演)
演者：参議院議員 自見 はなこ 先生

会員へは5月20日に下記発送予定です。

- 1 出欠ハガキ・委任状(返信締め切り6月4日)
出欠に関わらず委任状も作成してもらう。
- 2 総会案内リーフ
- 3 講演会資料
- 4 総会議案書・資料

2) 小児科医会入会、異動(登録情報変更)、退会に関して先日MLでもお知らせいたしましたが、オンラインでの登録フォームを作成しました。下記にリンクを示しておきます。(会員ページにもリンクはあります)
以前からの紙面での申込みでも構いません。
異動があった際には、地区理事もしくは庶務まで紙面等で提出いただくか、下記フォームをご利用ください。

▼入会申込登録フォーム：新規入会、再入会

<https://forms.gle/jWL9wn3YW4csiJVd6>

▼登録情報変更フォーム：メールアドレスの変更や異動、医師区分変更など

<https://forms.gle/Z8HcL77c5oz8YZ8f6>

▼退会専用フォーム：異動による退会等

<https://forms.gle/bsxT46XALXxAW1WX7>

2) 今月の新型コロナウイルス感染症への対応について情報交換・協議はありません。

委員会報告

1. 学術委員会報告：白川嘉継
2022年
7月2日 (土) 福岡県小児科医会総会
7月21日 アツヴィ合同会社 リンヴォック関連
特別講演
福岡市立こども病院 手塚純一郎先生
8月 休会
9月 ワクチンフォーラム
10月 鳥居薬品株式会社 コレクチム軟膏を検討中
11月 調整中 睡眠関連を検討中
12月 調整中 漢方薬関連を検討中
2023年
1月 総会
2月以降未定

その他、COVID-19のため、委員会は行われておりません。